

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 豊中分室における液体ヘリウム供給状況と予約システム変更について   |
| Author(s)    | 低温センター豊中分室  |
| Citation     | 大阪大学低温センターだより. 114 P.20-P.20  |
| Issue Date   | 2001-04   |
| Text Version | publisher   |
| URL          | <a href="http://hdl.handle.net/11094/7210">http://hdl.handle.net/11094/7210</a> |
| DOI          |   |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 低温センター豊中分室 ヘリウム予約システムの変更について

低温センター豊中分室（内線 6090, 6691）

巻末の平成12年度液体ヘリウム供給量に示されているように、豊中地区のヘリウム使用量は10万リットルを超えました。これは現有の人員とヘリウム液化装置の液化能力を考えると限界ぎりぎりの供給量です。豊中分室の大型ヘリウム液化装置は設置後8年を経過し、これまでの稼働時間は10,000時間を越えました。近年の供給量の急激な増大に対応するため無理な運転が続いており、液化装置の老朽化も進んでいます。12年度は大きな故障はありませんでしたが、11年度には液化装置のピストンを支えるシャフトが破断するなど、長期に液化装置を停止せざるを得ない状況が数回発生しました。長期に液化装置が停止すると、研究活動に深刻な影響を与えることになります。現在液化装置を更新すべく努力を重ねているところです。

さて、低温センターでのヘリウムの予約は、毎週月曜日に次週の使用予定量を黒板に記入するようになってきましたが、最近この予約日にユーザーが列をなすようになってきており、希望の予定量を予約するために早朝4時、5時から並び始めています。写真はこの予約日の行列の様子です。低温センターで一日に供給できる液体ヘリウムの量は限界があるため、これまでは



黒板に記入する順番で供給の優先順位が決まってしまうことになっていました。そこで早朝から並ぶ負担や安全面を考慮して、ヘリウムの予約システムを変更することといたしました。詳細は低温センターにお問い合わせください。変更のポイントは予約のための行列をなくすために、ユーザーの希望はすべて受け付けることとし、低温センター側で供給の調整を行うようにした点です。予約が集中する場合はユーザーに不公平にならないよう調整しますが、ユーザーのみなさんには不自由をおかけする状況もあり得ると思います。この点をご了承いただき、実験を供給日に合わせるなどして、不公平のない円滑なヘリウム供給にご協力いただければ幸いです。